

平成23年度 口腔ケアセミナー

摂食・嚥下障害のケアとケア

食べる機能や話す機能の障害を抱えて、在宅や施設での生活を余儀なくされている方々への口腔ケアやリハビリ、食事形態は適切なものか？漫然とケアが提供されてはいないでしょうか。本セミナーでは臨床の口腔生理学に基づく対応と評価の意義を解り易く講義頂きます。



日 時：平成23年12月18日（日）（受付9:30～）
場 所：中央シルバーエリア 多目的ホール
対 象：医療・介護で口腔ケア、リハビリなどに携わる方等
共 催：（公財）秋田県長寿社会振興財団(LL 財団)
： 歯科臨床研究会 二水会
参加費用：2,000円（資料含む）
申込方法：申込み用紙に必要事項を記入して、
FAX又は郵送で申し込み下さい。
定 員：80名

TOUCHの楽しく学べる口腔機能学講座 2011 in 秋田

《研修日程》

9:30～受付

10:00 講演

～3つのキーワードで考える、摂食・嚥下のケアとリハビリ～

講師：館村卓氏（歯科医師・歯学博士）

12:15 質疑

12:30 閉会

講師紹介 館村卓氏（たちむら たかし）大阪大学大学院歯科学研究科 高次脳口腔機能学講座
准教授 社団法人 TOUCH 代表理事

摂食・嚥下障害と発声言語障害の臨床、研究の第一人者として、約30年治療と研究活動等を精力的に行う。「言葉で意思伝達をはかること」「口から食事をとること」は人間の尊厳と社会参加を保障する（ICF）。双方の機能をつかさどる口腔は、複雑な神経と多様な筋群の協調運動によって成り立ち、最も廃用性変化を起こしやすい。急性期の判断でケアやリハビリが漫然と行われがちな現状に危機感を募らせ、「臨床の口腔生理学に基づく摂食・嚥下障害のケアとケア」を著した。近著は口腔機能に関する「なぜ？」に的確に応え、治療とケアの現場に新たな視点と気付きをもたらしている。「人が人たる所以」が著書を通じ実感できる。専門書の翻訳、著書多数。講演では必ず「笑い」をとり、サービス旺盛な関西人の一面も。

※日程、内容については変更する場合がございますのでご了承下さい。

※参加希望の方は、申込み用紙に必要事項をご記入の上、FAXで送信下さい。

FAXでの申し込みは、このまま下記宛に送信してください。

FAX : 018-829-2770

※申し込みは郵送でもお受けします。

〒010-1214 秋田市御所野下堤5-1-1

(公財) 秋田県長寿社会振興財団

秋田県介護実習・普及センター 担当宛て

申込期間 : 10月11日(火) ~ 11月4日(金) (必着)

| | | | |
|----------------------|---|--------|-----|
| フリガナ | | 性別 | 男・女 |
| 氏名 | | 職種 | |
| 自宅・勤務先住所 (どちらかに○) | 〒 | | |
| 勤務先名 | | 連絡先TEL | |
| 質問事項 | | | |

ここに、記載された個人情報とは本事業以外には使用しません。

※受講決定通知をお送りします。受講の際受付に提出して下さい。

※お問い合わせは、右記までお願いします。 LL 財団(研修担当:018-829-2777)

中央シルバーエリア地図

